

令和7年度 情報・経営システム系の実施状況

テーマ	AI 時代の教育・研究フロンティア：グローバル社会を牽引する高度情報人材育成
実施期間	2025 年 11 月 10 日（月）～11 月 11 日（火）
実施場所	マルチメディアシステム棟 会議室
参加者数	本学教員 21 人、高専教員 18 人 計 39 人
目的	本学および情報・経営システム系における研究・教育内容を周知するとともに、各高専が取り組む AI 時代の教育・研究プログラムについて理解を深め、新たな連携強化を図る。
内容	<p>本教員交流研究集会は、本学情報・経営システム系と高等専門学校（高専）教員との情報共有と連携強化を目的として 2 日間の日程にて実施した。</p> <p>1 日目は、本学の山下理事・副学長による挨拶から始まり、李系長より情報・経営システム工学分野の概要について紹介した。続いて、高専教員による招待講演が 8 件行われた。講演者は、苫小牧高専（工藤彰洋教授）、仙台高専（矢島邦昭教授）、長岡高専（酒井一樹准教授）、石川高専（小村良太郎教授）、木更津高専（米村恵一教授）、サレジオ高専（吉田慧一郎准教授）、大阪公立大学高専（中才恵太朗講師）、鹿児島高専（白石貴行准教授）となる。講演内容は、各高専で採択された「大学・高専機能強化支援事業」プログラム、改組に伴う新たな教育カリキュラム、キャリア教育支援、および本系教員との共同研究など多岐にわたる内容であった。その後、湯川副学長（入試・情報マネジメント担当）より、本学および情報・経営システム系の入学者状況について説明があった。さらに、羽山博士課程情報制御工学専攻専攻主任からは「高専－長岡技科大 共同研究」助成について説明があり、各講座の紹介は大岩准教授、雲居准教授、羽山教授の各教員が担当した。最後に、パネルディスカッション（テーマ：AI 活用時代に世界をけん引する高度情報人材育成とは？）を実施した。高専のパネリストとして仙台高専（矢島邦昭教授）、石川高専（小村良太郎教授）の 2 名、本学のパネリストとして湯川副学長、李系長の 2 名を中心に活発か</p>

つ充実した意見交換が行われた。

2日目には研究室見学を実施し、医療・福祉支援工学研究室（大岩准教授）、知識システム研究室（湯川教授・安藤助教）、知覚情報科学研究室（中平准教授）、スポーツ工学・情報学研究室（大橋准教授）、スポーツ生理・情報・工学研究室（奥島准教授）が担当した。

以上より、本教員交流研究集会を通じて、本学と各高専で取り組まれている情報分野における具体的な情報共有と意見交換を促進することができた。特に、①データサイエンス科目や経営関連科目に対する高専側のニーズが高いが、人材が足りていないこと、②本学の出前授業や研究室公開等の取組みに関する高専側の理解が一様ではないこと、③本系教員との共同研究に関する意欲が高いこと、等が確認できた。この教員間の交流は、情報・経営システム系と各高専との連携した教育・研究の促進に向けて、極めて有意義な成果をもたらすことが期待できるものであった。